

コアツモリソウ *Cypripedium debile* Rchb.f.

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 4、生育環境階級 3、人為圧階級 3、固有性階級 2、総点 15。愛知県では生育地が少ない。

【形態】

多年生草本。地下茎は横にはう。地上茎は高さ 10~20cm、無毛である。葉は 2 枚が対生し、無柄、葉身は広卵形、長さ 2.5~5cm、幅 2~5cm、3~5 本の脈があり、先端は鋭頭、辺縁は波うって毛状突起があり、表面には光沢がある。花期は 5~6 月、花茎は葉の間から出て細く、花はその先端に 1 個、垂れ下がって隠れるようにつき、淡黄緑色、直径約 2cm、苞は線形、長さ 1.5~3cm である。背がく片は卵状披針形、側がく片は 2 枚が合着して楕円状披針形、側花弁は狭披針形、いずれも長さ 1~1.5cm、唇弁は袋状、長さ約 1cm で暗紅紫色の条斑がある。花茎は果期には直立する。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根 (加藤等次 4454, 1994-5-17, 鳥居・高柳 1988, 小林 1992 参照)、7 設楽東部 (芹沢 85913, 2010-6-26)。

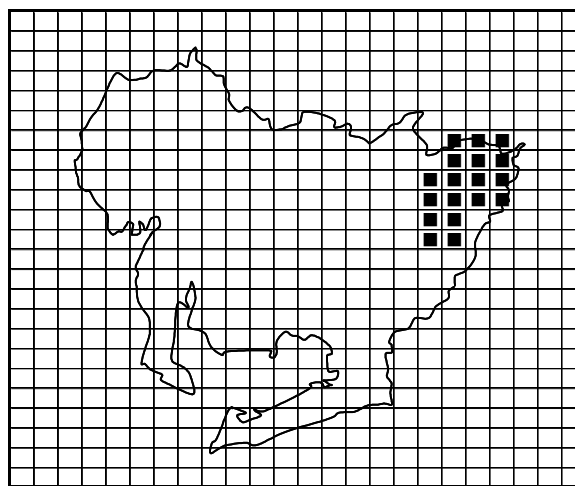
【国内の分布】

北海道西南部、本州中北部、四国 (高知県)、九州 (熊本県)。

【世界の分布】

日本、中国大陸。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の林内に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

2 区画とも生育範囲は狭い。豊根では以前はかなりの個体数が見られたようだが、園芸目的の採取のために激減した。

【保全上の留意点】

現在以上の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

花は下向きにつくため、自然状態では目立ちにくい。

【引用文献】

鳥居喜一・高柳久和. 1988. 愛知県豊根村からコアツモリの報告. レポート日本の植物 35:144.
小林元男. 1992. 三河地方の植物について第 2 報. レポート日本の植物 40:202.

【関連文献】

保草本Ⅲp.6, 平草本 I p.191, 平新版 1 p.193, SOS 旧版 p.110.